

# 令和4年度事業報告

## I 事業

中小企業のニーズに応え各種支援事業を実施するなど、名古屋市と密接に連携し、公益財団法人として、産業振興施策を推進した。

具体的には、先端技術研究開発の支援やプラズマ技術の産業応用支援に努めたほか、中小企業経営や創業・新事業等に関する相談・研修事業、中小企業の技術者の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業等を実施した。

また、指定管理者として、名古屋市中心企業振興会館等を管理運営し、利用率の向上に努めた。

さらに、新型コロナウイルス感染症による影響を受けている中小企業に対する支援として、国の「事業復活支援金」の申請に必要な事前確認を実施するとともに、事業展開を行う中小企業者が市内の事業所等に設備・機器等を導入する事業に対し、「中小企業事業展開支援補助金」を交付した。

### 【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	収益	50,941千円
		費用	50,941千円
		差額	0千円

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関等に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援した。

なごやサイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

- ・ 国立研究開発法人理化学研究所  
「生物制御に基づくロボットの自律制御に関する研究」
- ・ 公益財団法人名古屋産業科学研究所  
「SiC単結晶を用いた高精度切削工具の研究開発」  
「触覚センサ付きロボットハンドによる加工食品のハンドリングに関する研究開発」

2	プラズマ技術産業応用支援事業	収益	22,023千円
		費用	23,893千円
		差額	△1,870千円

「プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）」の会員をはじめ、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業に対して、可能性トライアルを実施したほか、名古屋市工業研究所との連携のもと技術相談やテスト処理・分析を行うとともに、地域の研究機関と連携して地域企業の振興に取り組んだ。

また、最新のプラズマ技術及び産業応用事例をテーマにした講演会の開催、メーリングリストによる関連団体のプラズマ関連情報の配信等により、プラズマ技術全般に関する情報提供を行った。

(1) プラズマに関する技術支援

ア プラズマ技術に関する技術相談窓口

名古屋市工業研究所と連携をとりながら、専門的知識・経験を有する職員が企業からの技術相談に対応した。

〔技術相談 41社 53件〕

イ テスト処理・分析

企業からの依頼に応じて、プラズマ技術を用いた材料開発や高機能化のための試作を支援した。

〔機器利用件数 22社 43件〕

ウ 可能性トライアルの実施

中小企業等のプラズマ技術応用に関する研究開発を企業の経費負担によって行い、技術的課題の解決を図った。

〔可能性トライアル数 4社 10テーマ〕

(2) PLAMの運営

〔会員企業 326社  
講演会開催 1回  
参加者 44人  
見学会開催 1回  
参加者 21人〕

3	共同研究事業	収益	162,803千円
		費用	162,803千円
		差額	0千円

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の管理運営を行った。

戦略的基盤技術高度化支援事業（※経済産業省の補助事業）

- ・テーマ 「グラフェン電極を用いた大容量全固体リチウムイオン電池の研究開発」 (令和2～4年度事業)
- ・テーマ 「半導体微細径ワイヤボンドの非破壊瞬時検査方法と自動検査装置の開発」 (令和2～4年度事業)
- ・テーマ 「Society5.0の実現に不可欠な超小型デジタル部品の生産性を飛躍的に高めるバレル研磨法の開発」 (令和3～5年度事業)
- ・テーマ 「マグネタイト複合ニッケルめっきの開発及びナノ粒子分散技術の最適化による分散度測定装置の開発」 (令和3～5年度事業)
- ・テーマ 「溶液を使用しない環境に優しいアルミニウムの新表面処理「水蒸気プロセス」とその設備の開発」 (令和3～5年度事業)

〔成長型中小企業等研究開発支援事業（※経済産業省の補助事業）  
 ・テーマ 「海外燃焼規格適合の難燃性エラストマーを用いた鉄道車両用超  
 耐久性部品の開発」 (令和4～6年度事業) 〕

4	研究開発促進事業	収益	17,264千円
		費用	17,939千円
		差額	△675千円

(1) 産学行政連携支援事業

ア 研究会の開催

(ア) 医療・福祉・健康分野

- ・ヒューマンインターフェイス研究会

開催 1回 参加者 50人

(イ) ロボット・ICT分野

- ・Nagoyaオープンイノベーション研究会 (Nova)

開催 2回 参加者 110人

(ウ) ものづくり技術分野

- ・CAEを活用したものづくり研究会

開催 1回 参加者 18人

- ・ファインバブル技術産業活用研究会

開催 1回 参加者 111人

(エ) デザイン分野

- ・ものづくりデザインプラットフォーム

開催 4回 参加者 38人

(オ) 先端技術分野

- ・革新的技術研究会

開催 1回 参加者 102人

(2) 医療介護機器等高度化支援事業

- ・ヘルスケアイノベーション推進会議

開催 2回 参加者 24人

- ・医療機器開発チャレンジワークショップ

開催 3回 参加者 33人

- ・介護機器開発チャレンジワークショップ

開催 3回 参加者 32人

- ・医療介護機器等実証評価

評価件数 5社5製品

- ・展示会出展 (ウェルフェア、メディカルメッセオンライン)

5	新事業創出支援事業	収益	2,521,287千円
		費用	2,520,964千円
		差額	323千円

(1) 相談、専門家派遣、創業研修事業等

ア 相談事業

中小企業経営、創業・新事業等を支援するため、中小企業診断士等の資格を有するマネージャーが窓口相談や企業訪問によるアドバイス等を行った。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小法人・個人事業者が国の「事業復活支援金」を申請するに当たり必要な事前確認を実施した。

更に、当公社の「中小企業事業展開支援補助金」の申請等を行う事業者に対し、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社と連携しながら対応した。

新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和される中、中小企業からの経営相談として、国の施策を活用して事業を再構築するための事業計画作成をはじめ、コロナ禍の影響を克服し新たな取り組みに挑戦しようとする内容が多く寄せられた。

相談企業	1,436社・者
相談等延件数	2,756件
※上記のうち、事前確認を行った件数は、	
事業復活支援金の事前確認	782件
中小企業事業展開支援補助金申請等の事前相談	48件
※小規模企業経営力強化支援事業の相談件数等は(2)に記載。	

イ 専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣（経営改善・創業・新事業）

経営改善等に取り組む中小企業に対して、中小企業診断士等の専門資格を持つ人材を派遣し、現場で実践的な支援を行った。

派遣企業	113社
派遣回数	295回

(イ) 専門家派遣（工業技術・技能指導）

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者（テクノアドバイザー）として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

派遣企業	2社
派遣回数	14回

ウ 創業研修事業

名古屋市内で起業を目指す方・起業に関心のある方を対象に、創業時に必要な情報や創業の魅力等について提供するため、創業セミナーを開催した。

開催日	令和4年5月17日（火）、11月15日（火）
場所	ナゴヤイノベーションズガレッジ
参加者	61人

## エ 新事業創出支援機関の連携促進

名古屋市内に拠点を置く新事業支援機関（21支援機関）の連携を図るため、名古屋市新事業創出連絡会議（あいち新事業活動促進連携会議と合同）を開催した。

## (2) 小規模企業経営力強化支援事業

小規模企業の生産性向上による経営力の強化を図るため、小規模企業経営アドバイザーの訪問等による各種相談のほか、小規模企業経営基盤強化設備投資補助金の交付事務及び認定事務を行った。

小規模企業経営アドバイザー	
相談企業	133社・者
相談件数	409件
小規模企業経営基盤強化設備投資補助金（令和4年度）	
交付件数	39件
小規模企業経営基盤強化設備投資補助金（令和5年度）	
認定件数	45件

## (3) ビジネスマッチング事業

### ア ビジネスプラン発表会の開催

新事業に取り組む中小企業の販路拡大や事業提携を支援するため、公益財団法人あいち産業振興機構等と共催でビジネスプラン発表会を開催した。

プラン発表企業	2社
発表会参加者	102人

### イ ものづくり企業技術・販路マッチング支援事業の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の技術探索や営業活動が困難になっている中小製造業に対し、オンライン展示会等への出展支援や、製造業を専門にマッチングを行う企業を活用した新規顧客獲得・新分野進出の支援を行った。

技術募集情報の提供	46社
オンライン展示会等への出展支援	32社
マッチングの伴走支援	10社
コーディネーター（支援統括担当、技術担当、WEBマーケティング担当）によるサポート	245件
※コーディネーターによるサポート件数は、「(1)ア 相談事業」の相談等延件数に含む。	

## (4) 創業支援施設の入居企業への支援

### ア インキュベーションマネージャーによる支援

名古屋ビジネスインキュベータ（nabi/金山）及び名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi/白金）の入居企業への支援及び誘致を行った。

研修会等の開催	27回
経営相談	916件

また、名古屋医工連携インキュベータにインキュベーションマネージャーを2名配置し、入居者への支援を行った。

#### イ 創業ルームの運営

名古屋ビジネスインキュベータ（n a b i / 金山）及び名古屋ビジネスインキュベータ白金（n a b i / 白金）において、小規模区画を創業希望者等に廉価で貸与したほか、名古屋ビジネスインキュベータ（n a b i / 金山）の一部区画については女性専用の「女性創業ルーム」として貸与した。

#### ウ 創業準備ルームの運営

名古屋ビジネスインキュベータ白金（n a b i / 白金）において、市内での創業予定者に6か月間無料でブースを提供するとともに、マネージャー（創業担当）等による研修及び相談支援を行った。

第23期・第24期利用者	28人
令和4年度創業者	12人

### (5) 中小企業事業展開支援補助金

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化や今後起こりうる想定外のリスクに耐えられるよう、事業展開を行う中小企業者が市内の事業所等に設備・機器等を導入する事業に対し、その事業に要する経費の一部を補助した。

申請等を行う事業者の事前相談には、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社と連携しながら対応した。

交付件数	6,662件
------	--------

### (6) ドローンロボット活用事業創出支援事業

市内中小企業者へのドローンの実装を推進することで、ドローン技術の産業応用を推進し、新たな価値を創造する産業を振興するため、市内中小企業へのドローン導入、操縦者育成、民間施設点検に要する経費の一部を補助した。

また、ドローンビジネスの普及啓発を図るため、セミナーを実施した。

補助金交付選定企業	7社	
セミナーの開催	2回	191人

6	普及啓発・情報提供事業	収益	56,410 千円
		費用	64,537 千円
		差額	△8,127 千円

(1) 普及啓発事業

ア なごや・サイエンス・ひろば

市民、とりわけ子ども達に科学技術に対する理解と関心を深めてもらうため、なごやサイエンスパーク内の研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介及び科学技術に関するイベント等を行う「なごや・サイエンス・ひろば」について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、規模を縮小するなど感染症対策を徹底したうえで実施した。

開催日	令和4年8月27日(土)
場所	なごやサイエンスパーク サイエンス交流プラザ
参加者	296人

イ 研究成果普及啓発事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの研究者・技術者に向けて研究成果の発表や交流の場を提供することで、研究成果の普及を図るとともに産学行政の連携活動を支援した。

なごやサイエンスパーク連携推進会議の開催	1回	16人
テクノヒル連絡会義の開催	1回	14人
サイエンスカフェの開催	1回	18人

ウ 「ナゴヤファッションコンテスト2022」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日	第1次審査会	令和4年6月6日(月)
	最終公開審査会	令和4年9月15日(木)
場所	第1次審査会	台東区民会館
	最終公開審査会	デザインホール (ナディアパーク・デザインセンタービル)
応募作品	7,436点(うち海外からの応募作品192点)	
来場者	701人(最終公開審査会)	

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションセミナーを開催した。

開催	5回
参加者	239人

(3) 異業種交流グループの活動支援

異業種企業の相互ネットワーク作りや情報交換を促進するため、講習会や講演会、並びに見学会等を実施した。

講習会・講演会	31回
優良企業の見学会・交流会	19回
他都市の先端企業の見学会・交流会	5回
会員交流会等	5回

(4) ものづくり技術講演会・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「カーボンニュートラルを実現する技術」をテーマとした、ものづくり技術講演会を開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを実施した。

ア ものづくり技術講演会

開催日	令和5年2月15日(水)
場所	名古屋市工業研究所
参加者	158人

イ 工業技術グランプリ

受賞企業	11企業
※ものづくり技術講演会で受賞企業及び受賞事例を紹介	

(5) 情報提供・交流フロアの運営

産業技術図書館において、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料(約4万冊)を無料で閲覧に供した。

また、技術情報交流の場として、情報交流フロアの運営を行った。

図書館来館者	4,374人
情報交流フロア利用者	10,492人

7	産業人材育成事業	収益	42,216千円
		費用	39,818千円
		差額	2,398千円

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

ものづくり人材の育成、熟練技能者の退職に伴う技能継承など、中小企業の技術開発力強化のための研修・実習等を行った。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習

電子回路技術研修など10コース		
受講者	95社	115人

イ 中小企業技能者育成講座

熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座

鉄工（構造物鉄工作業）技能士受験対策講座など3コース		
受講者	28社	34人

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・技術者向け講習会等（ものづくり支援講座7コース）を開催した。

ア 産業用ロボット作業員特別教育講習会

開催年6回	受講者	86社	134人
-------	-----	-----	------

イ 現場管理者の生産管理技術（トヨタ生産方式）研修

受講者	9社	21人
-----	----	-----

ウ 機械設計図面の見方・読み方研修

受講者	15社	19人
-----	-----	-----

エ 機械設計図面の描き方研修

受講者	7社	9人
-----	----	----

オ 知的財産担当者養成講座

受講者	(前期) 5社	6人
	(後期) 4社	5人

カ 機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修

受講者	10社	15人
-----	-----	-----

キ プラズマ技術産業応用研修

受講者	7社	9人
-----	----	----

(3) 技術経営（MOT）研修

経営の視点から技術戦略を検討する人材育成のため、（公財）科学技術交流財団、（公財）名古屋産業科学研究所と共催でMOT研修（基礎コース・実践コース）を実施した。

受講者	基礎コース	47人
	実践コース	9人

8	工業技術情報提供事業	収益	4,106千円
		費用	4,448千円
		差額	342千円

(1) 新春講演会の実施

開催日	令和5年1月27日（金）
場所	名古屋クレストンホテル
内容	「空の移動革命への挑戦 ～日本発 空飛ぶクルマと物流ドローンの開発～」
講師	株式会社 SkyDrive アカウントプランナー 羽賀 雄介 氏
参加者	96人

(2) 「技術のひろば」の発行

〔発行 2回 発行部数 各1,500部〕

(3) 商品展示・カタログ展示

ア 商品展示

〔展示場所・企業数 ナディアパーク・デザインセンタービル 6社〕

イ カタログ展示

〔展示場所・企業数 名古屋市中小企業振興会館 38社  
名古屋市国際展示場 (ポートメッセなごや) 41社  
名古屋市工業研究所 36社〕

(4) 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月1日、15日頃配信

(5) 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

(6) 賛助員の企業情報を発信

公社ウェブサイトに掲載を希望する賛助員企業を紹介

〔賛助員数 239社 (令和5年3月31日現在)〕

9	経済交流・誘致促進事業	収益(※)	173,697千円
		費用	172,840千円
		差額(※)	857千円

※収益には積立資産取崩額(9,911千円)及び見本市展示会開催助成金(2,000千円)を含む。

(1) 外資系企業等誘致の推進

愛知県、名古屋市及び当公社で組織するコンソーシアム(INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM)により、外資系企業を対象に展示会の出展支援、ならびに外資系企業ネットワーク懇談会を開催した。また、当地域への誘致を図るため、国際見本市や展示会等の出展企業を訪問し、進出有望企業の発掘を行った。

〔外資系企業の誘致件数 8件  
メッセナゴヤ2022への共同出展 9社  
外資系企業ネットワーク懇談会 参加者59名〕

(2) 見本市・展示会の開催

関係団体と共同で、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業見本市を開催し、地域産業の発表の場、交流の場を提供した。

ウェルフェア2022～福祉・医療・健康の総合展～

開催日	令和4年5月26日（木）～28日（土）
場 所	吹上ホール
出展者	105社・団体
来場者	9,750人
内 容	「医療関係」、「介護予防・健康維持」、「日常生活支援」、「医療、介護施設、住宅用設備機器」及び「感染症予防対策」などの分野で、福祉、医療、健康について、幅広く展示紹介

建設技術フェア2022 in 中部

開催日	令和4年10月4日（火）～5日（水）
場 所	ポートメッセなごや第3展示館
出展者	326社・団体
来場者	16,786人
内 容	国土交通省中部地方整備局と共催で、産学官の技術情報交流の場を提供し、技術開発の現状と方向性、新技術の導入等を紹介（中部ライフガードTECと同時開催）

第10回中部ライフガードTEC2022～防災・減災・危機管理展～

開催日	令和4年10月4日（火）～5日（水）
場 所	ポートメッセなごや第3展示館
出展者	52社・団体
来場者	16,786人
内 容	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議と共催で、BCP、避難、備蓄対策、地震対策や、ドローン等を展示紹介

第12回次世代ものづくり基盤技術産業展— TECH Biz EXPO2023—

開催日	令和5年2月8日（水）～9日（木）
場 所	吹上ホール
出展者	100社・団体
来場者	4,797人
内 容	我が国の基幹産業である製造業の発展を支え、当地域の産業技術の高度化と新技術の開発に寄与するものづくり最新要素技術を幅広く紹介

10	関係団体事務受託事業	収益	3,222千円
		費用	4,616千円
		差額	△1,394千円

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行った。

(1) 異業種交流団体

団体名・代表者	助言者	会員数
テクノプラザナゴヤ88 会長 株式会社吉田SKT 代表取締役会長 吉田 由孝	元名古屋市工業研究所 所長 山下菊丈	24社
テクノプラザナゴヤ001 会長 名古屋樹脂工業株式会社 代表取締役社長 伊藤 誠一	名古屋工業大学 准教授 矢野卓真	17社
テクノプラザナゴヤ90 会長 萩原電気ホールディングス株式会社 名誉会長 萩原 義昭	元名古屋市工業研究所 所長 濱田幸弘	19社
テクノプラザナゴヤ91 会長 複合資材株式会社 代表取締役社長 尾藤 正儀	元名古屋市工業研究所 材料化学部長 福田博行	11社

(2) 各種研究団体

中部生産加工技術振興会  
中部塗装技術研究会  
中部歯車懇話会  
中部溶接振興会  
名古屋テキスタイル研究会  
日本カム工業会  
鍍金技術研究会  
東海無機分析化学研究会

11 産業振興施設の管理運営	収益	941,998千円
	費用(※)	884,839千円
	差額(※)	57,159千円

※費用には減収補填に係る中小企業振興会館指定管理納付金の減額(△125,831千円)を含む。

(1) 展示施設

施設名	利用件数	利用日数
名古屋市中小企業振興会館		
吹上ホール	76件	218日
第1ファッション展示場	75件	166日
第2ファッション展示場	74件	176日
デザインホール	111件	211日

(2) 研究開発・支援施設

ア 名古屋ビジネスインキュベータ、名古屋ビジネスインキュベータ白金

名古屋ビジネスインキュベータ (n a b i / 金山)	入居 18 社
	(令和 5 年 3 月 31 日現在)
名古屋ビジネスインキュベータ白金 (n a b i / 白金)	入居 39 社
	(令和 5 年 3 月 31 日現在)

イ サイエンス交流プラザ

インキュベータ入居	8 室	(令和 5 年 3 月 31 日現在)
大会議室利用	40 件	
中会議室利用	34 件	

【収益事業等の実施】

1	施設管理附帯事業	収益	43,832 千円
		費用	26,879 千円
		差額	16,953 千円

名古屋市中小企業振興会館等の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務や自動販売機の維持管理を行ったほか、催事案内を掲載したイベントカレンダーを作成した。

施設管理附帯事業収益 (主なものを掲載)

貸出備品使用料収益	30,293 千円
自動販売機売上等手数料収益	9,746 千円

2	吹上及び吹上中央帯駐車場の管理運営	収益	47,758 千円
		費用(※)	52,100 千円
		差額(※)	△4,342 千円

※費用には減収補填に係る指定管理納付金の減額 (△26,389 千円) を含む。

名古屋市中小企業振興会館に隣接する名古屋市道路附属物自動車駐車場である吹上及び吹上中央帯駐車場について、指定管理者として管理運営を行った。